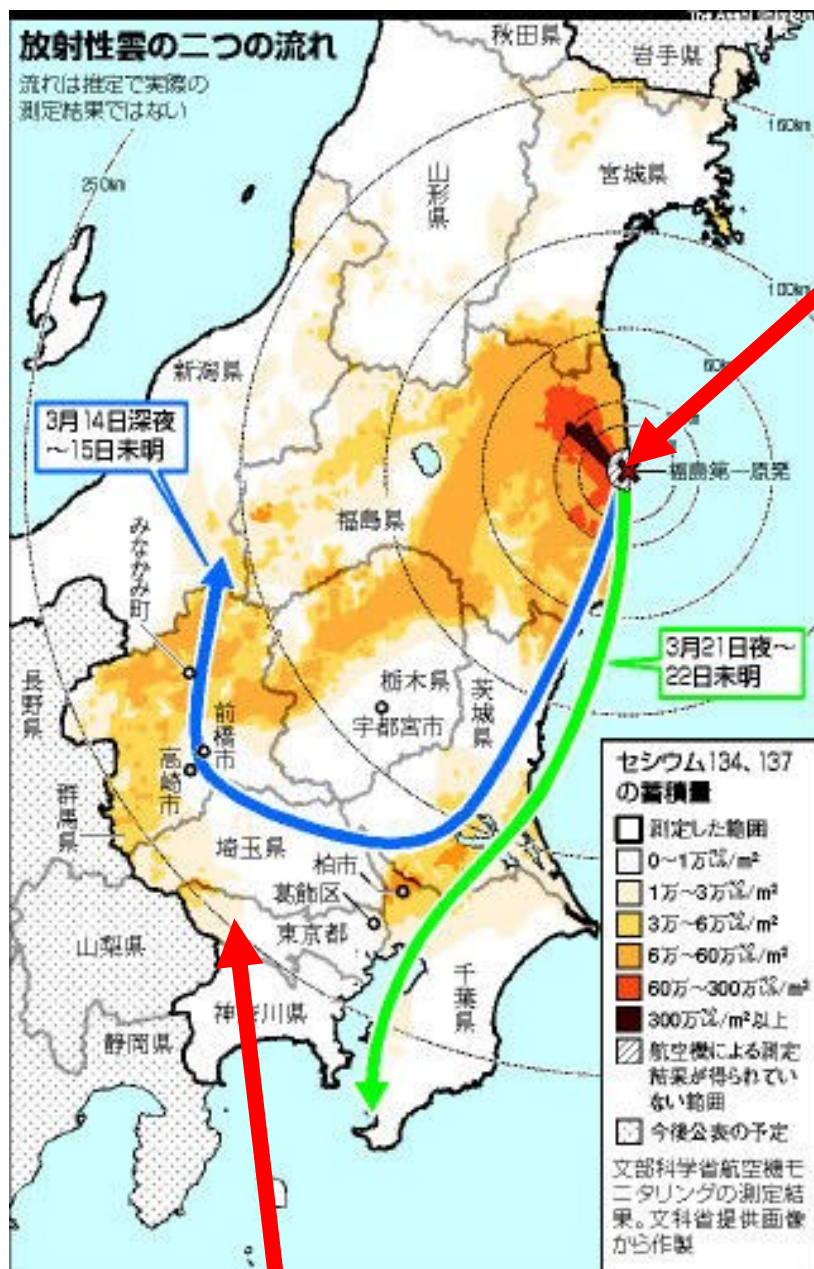


フクイチ事故は終わっていない
ー放射能が出続けている

八王子市民放射能測定室 ハカルワカル広場



フクイチ事故 燃料デブリは放射能を出し続けている。

原発事故で溶けた核燃料が、原子炉内の金属やコンクリートなどと混ざり合って冷え固まった、非常に放射性物質を多く含む塊（かたまり）のこと

フクイチの放射性プルーム(雲)は、低気圧に押されて大気中を流れ、八王子にもヨウ素とセシウムが雨とともに落ちて来ている。

ハカルワカル広場は、土壌測定でセシウムの放射能汚染を調べる。

ハカルワカル広場

- 福島第一原子力発電所(フクイチ)で使用されていた主な燃料は二酸化ウランであり、大部分が低濃縮ウランでした。
- 燃料の種類: 二酸化ウラン(UO_2)がセラミック状のペレットに加工され、燃料棒として使用されていました。
- 濃縮度: 核分裂性のウラン235の濃度が**約3～5%
残りの約95～97%はウラン238
- MOX燃料: 3号機では、ウランとプルトニウムの混合酸化物である「MOX(モックス)燃料」プルトニウムを再利用するプルサーマル計画の一環
- これらの燃料は、運転中に核分裂反応によってエネルギーを生成し、同時に新たな放射性核種(プルトニウムなど)も生成されました。事故後、燃料デブリの主成分もウランです。

フクイチ事故から放射性物質の放出続く

福島第一原発の状況 (1日朝まで)									
使用済み核燃料貯蔵プール		原子炉圧力容器		燃料棒		原子炉格納容器		遮蔽壁	
建屋		1号機		2号機		3号機		4号機	
圧力抑制室		5・6号機							
圧力容器		損傷の可能性、真水を注入		損傷の可能性、真水を注入		損傷の可能性、真水を注入		——	
格納容器		「健全」と説明 (圧力と温度のコントロールに苦勞)		損傷の疑い (圧力抑制室が爆発で損傷した疑い)		「健全」と説明		安全	
燃料棒(原子炉)		損傷の疑い		損傷の疑い		損傷の疑い		炉心になし	
燃料棒(燃料プール)		不明		不明		損傷の疑い		損傷の疑い	
燃料プールの水量		不明		満水		不明		満水の可能性	
タービン建屋		地下に放射能汚染水		地下に放射能汚染水		地下に放射能汚染水		地下に海水	
タービン建屋のたまり水		排水停止中		排水に向けて作業中		排水に向けて作業中		対策を検討中	
電源		通電、中央制御室点灯		通電、中央制御室点灯		通電、中央制御室点灯		通電、中央制御室点灯	

福島第一原発事故の発端は、2011年3月11日の**東北地方太平洋沖地震**の後に襲った**巨大津波**です。この津波により、建屋内の**電源設備が浸水して全交流電源を喪失し、原子炉を冷やす機能が失われ**ました。結果として**炉心が損傷し、水素爆発と放射性物質の放出**につながりました。

八王子市民放射能測定室 八カルワカル広場

福島第一原子力発電所構内での空間線量測定状況

<https://www.tepco.co.jp/nu/fukushima-np/f1/index-j.htm>

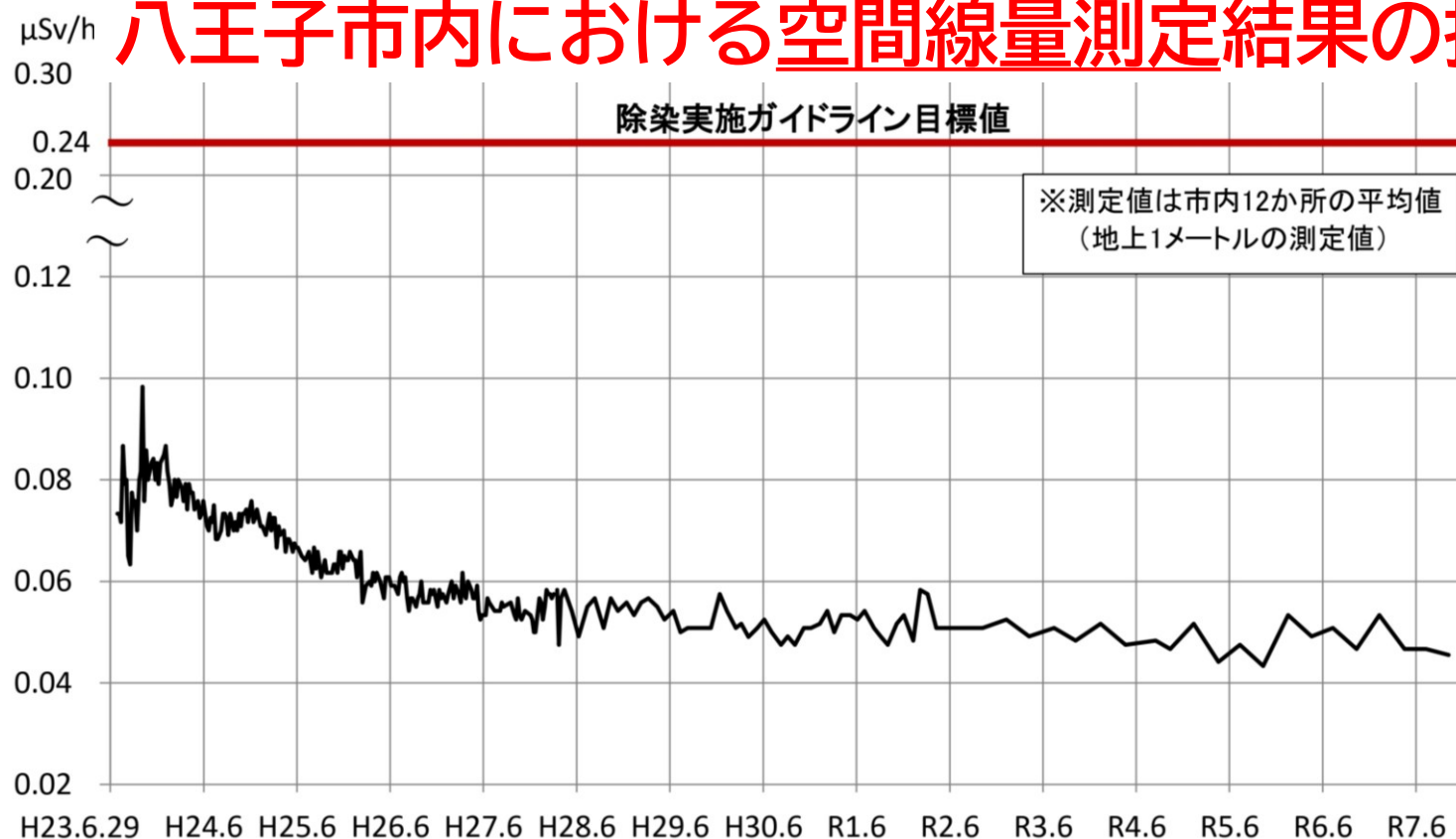
○計測値 (2025/11/27 13:30)

MP単位: $\mu\text{Sv/h}$ 風速単位: m/s

MP-1	MP-2	MP-3	MP-4	MP-5	MP-6	MP-7	MP-8	風向	風速	感雨
0.517	0.748	0.461	0.943	0.661	0.295	0.521	0.492	東南東	0.9	無



八王子市内における空間線量測定結果の推移



<https://www.city.hachioji.tokyo.jp/emergency/bousai/higashinihon/002/p005809.html>



土壌測定値＝土壌を汚染したフクイチのセシウム

Bq/kg

20000

18000

16000

14000

12000

10000

8000

6000

4000

2000

0

2012 2013 2014 2015 2016 2017 2018 2019 2020 2021 2022 2023 2024 2025

Bq/kg 拡大:2019-2025 373件の土壌測定

1400

1200

1000

800

600

400

200

0

2019 2020 2021 2022 2023 2024 2025

2026年:土壌放射能測定キャンペーンを行います

2026 年:15 年目の土壌放射能測定プロジェクト

土壌測定のモニター募集

フクイチ事故による放射性物質の放出は続いています。
土壌をお持ちいただくと、あなたの周りの土壌汚染がわかります
ご協力をお願いします！



グラフは、福島原発事故後にハカルワカルが測定した土壌の放射能汚染を示しています。2024～2025 年でも 800 ベクレル/kg の汚染が見つかることもあります。放射能汚染状況を知るために土壌を 1 リットルお持ちください。

皆様の参加をお待ちしています。

モニター参加の仕方は詳しくは裏面にあります。詳しくは下の QR コードを読み取ってください。ハカルワカル広場の「15 年目」にアクセスできます。



ハカルワカル広場は維持会員の会費とボランティアで運営されています。



八王子市民放射能測定室

ハカルワカル広場

〒192-0053 東京都八王子市八幡町 5-11 八中ビル 2F

お電話
問合せ 042-686-0820

HP: <https://hachisoku.org> メール: hachisoku@gmail.com

【開 室】 火曜日～土曜日:10時～12時

ボランティア、維持会員募集中！
お問い合わせはハカルワカル広場まで

ゆうちょ銀行 0016-6-259064 (八王子市市民放射能測定室)
振替も大歓迎です 銀行からの振込は 018-023460 (八王子市民放射能測定室)

2026 年は、ハカルワカル広場開室から 15 年目になります。ハカルワカル広場を支えていただき厚くお礼申し上げます。

八王子の皆様に、八王子の土壌を 1 リットル採取していただき、測定室に持ち込んで八王子の土壌にあるセシウムを測定しませんか。

「土壌放射能測定キャンペーン」に参加して、フクイチから漏れたセシウムを監視しましょう。

キャンペーンへの参加をお待ちしています。

ハカルワカル広場

柏崎刈羽原発の再稼働に反対 オンライン署名のお願い



最近の主な事故報告

ERSS伝送装置の一部停止: 2025年11月2日夜停止

テロ対策不備: 2021年IDカード不正使用、核物質防護設備の機能不全

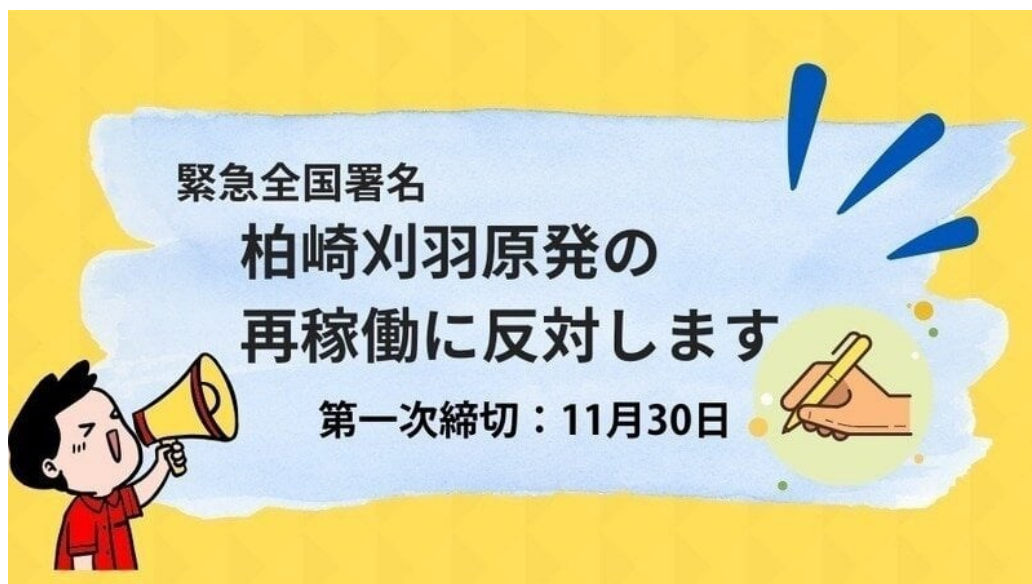
過去の主な停止: 2007年7月16日 中越沖地震 運転中の原子炉が全て停止。

運転再開に向けた動き: 新潟県知事が2025年11月21日、再稼働を容認すると表明。

オンライン署名

<https://c.org/kXhtSyQfJB>

12月19日現在
39,193件署名



厚生労働省が定める放射性物質の安全基準(基準値)

厚生労働省が定める放射性物質の安全基準(基準値)は、食品を通じた追加被ばく線量が年間1ミリシーベルト(mSv)を超えないように設定されています。

2025年現在、適用されている主な基準値は以下の通りです。

食品中の放射性物質(セシウム)の基準値 食品区分ごとに、1kgあたりのベクレル(Bq/kg)で定められています。

1. 一般食品(肉、魚、野菜、米など):100 Bq/kg
2. 乳児用食品:50 Bq/kg
3. 牛乳:50 Bq/kg
4. 飲料水(水道水含む):10 Bq/kg

設定の考え方

安全の目標: 国際放射線防護委員会(ICRP)の勧告に基づき、一般公衆が受けてよい追加被ばく線量の限度である「年間1mSv」を指標としています。

厳格な算出: 飲料水による被ばく分(約0.1mSv)を差し引いた残り(約0.9mSv)を食品に割り当て、最も多く食べる年代や性別の影響を考慮して、最も厳しい値(100Bq/kg)を一般食品の基準としています。

水道水: 水道水については「管理目標値」として10 Bq/kgが設定されており、これを超えた場合は給水停止や摂取制限などの措置が検討されます。